

筑波大学新聞

第270号

編集責任 筑波大学新聞 編集委員会 委員長 荻野祥三

TEL: 029(853)2040-6699 E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp 月刊

発行所 筑波大学 茨城県つくば市 天王台1-1-1

紙面から

秋野豊氏追悼 10年後の今年も人を結ぶ 早大と連携 教育・研究で協力体制 有森裕子さんがゲストで来校 ハンドボール 男子5シーズンぶり優勝 陸上関東インカレ 女子総合で16連覇 11 9 8 5 2 2

特集 6,7

行きたい! 知りたい! 留学ってどうすればいいの?

ニニ特集 3

考察・北京五輪 筑波大からの視点

学長懇談会

組織間の連携が課題

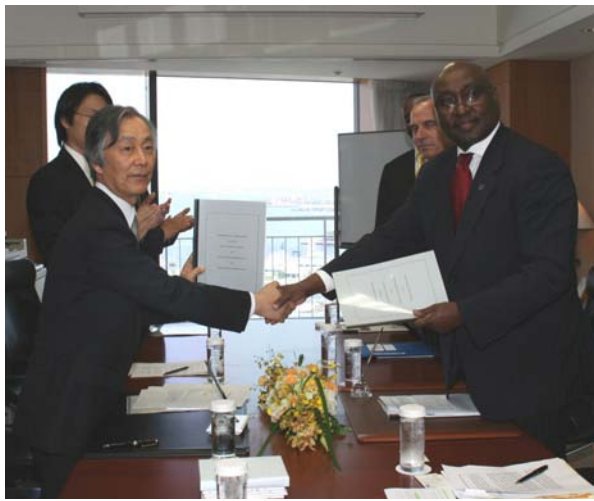
学生と大学で問題の共有

第1部は全代会議長団や各委員会の活動内容の説明と今年度の活動方針について発表した。今回の発表で主な活動方針の一つが、宿舎実行委員会など、昨年度まで連携が希薄だった組織や団体との交流だった。総評の中で岩崎学長は「学生のみなさんにとっての問題は大学にとっても課題」と話した。

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を報告し、学生と大学の交流を図る学長懇談会が6月6日、第一エリア食堂で開かれた。岩崎学長(学長兼学務長)、岩崎副学長(教育担当)、腰塚武志副学長(学生生活担当)ら26人の教職員と58人の学生が参加した。

梅雨が今年もやって来た。さながら霧の都の様相を呈するこの頃のつくばだが、雨が降っているだけで元気がなくなっているのは人間だけなのか、松美池の鯉たちは、雨音のリズムに身を躍らせ、心地良さそうに「雨が降るのは当たり前、蛇口から水が出るのは当たり前、そんな考えの甘さを思い知らされるニュースがあった。2002年代には水不足に苦しむ人が数億人に及ぶというものだ。データによってはこの数字が10倍程度も跳ね上がるらしい。20年後といえは、まさに我々が社会を背負う時代。他人事だとは言っていられない▼バケツ2杯(20リットル)と28杯(2800リットル)。これは、ケニアと日本の家族が一日で使う水の量だ。この数字から、日本人の過剰とも言える水の使い方が見えてきた。トイレ、風呂など水と付き合わずには生活できないからこそ、一滴の重みがわかる人間でありたい▼7月に開かれる洞爺湖サミット。その開会を前に、空前のエコチームが日本を席巻している。テレビを始め新聞、雑誌と「エコ」の文字が各所でちらつくと「ファッション化する地球温暖化という言葉の裏側には、日にバケツ2杯の水で暮らす人々がいる。環境について考えるのは結構だが、梅雨のように時期が過ぎて忘れてしまつては、地球の明るい未来は見えない。

MOU 締結 アフリカ開発銀行と連携



調印後に握手する総裁と学長

人材育成と共同研究

筑波とアフリカとの距離縮まる

本学は、高等教育レベルでの人材育成などを通じ、アフリカ諸国の持続的発展に寄与するため、5月28日、アフリカ開発銀行(本部:チュニジア・チュニス市)と「筑波大学とアフリカ開発銀行との覚書(MOU) Memorandum of Understanding (ing)」を締結した。

締結式は、パンパシフィック横浜ベイホテル東急でおこなわれた。岩崎洋一学長と、第4回アフリカ開発会議出席で来日していたドナルド・カベルカアフリカ開発銀行総裁が覚書に調印し

た。本学からは、他に吉武博通副学長(総務・国際担当)や橋田正造国際部長、中嶋光敏北アフリカ研究センター長らが出席した。覚書は高等教育レベルでの人材育成、共同研究・研究フォーラムなどの開催、研究・教育における知識・情報の交換、科学技術分野における南・南協力力の推進など4項目を目的としている。アフリカ開発銀行が日本の大学と覚書を締結するのは初。中国など世界各国がアフリカに注目するなかで、本学とアフリカとの距離が縮まった。

本学は2004年度、学内に北アフリカ研究センター、06年度にチュニジア共和国チュニス市に北アフリカ・地中海連携センター(海外拠点)を設置。北アフリカ地域との学術研究交流を進めてきた。03年チュニス市に本部拠点を移した開発銀行が本学の北アフリカでの活動実績を評価し、第4回アフリカ開発会議に合わせて今回の覚書締結に至った。

学内では今年2月から同覚書締結に関する話し合いを進め、4月下旬、5月に締結式を行うことに決定した。今回の締結は本学にとっても、開発銀行がもつアフリカ加盟国53カ国の情報にアクセスできるようになるというメリットがある。開発銀行との連携により北アフリカのみならず、アフリカ全域との連携・協力が強化されることが期待できる。また、情報や研究員・留学生など人的交流を本学の研究や教育にも活かすことも狙いの一つだ。今後期待される具体的な動きとしては、本学の磯田博士教授(国地)のオリーブ研究がある。アフリカで穫れるオリーブから葉や花に有効な成分が発見され、現在チュニジアと本学共同で国際特許の申請をしている。特許が認められればチュニジアにとっても共同の国際特許取得は初。その後も企業との立ち上げなど研究だけでなく開発への貢献も計画している。

また、7月には北アフリカセンターからチュニジアに人員を派遣し、開発銀行と今後について話し合う予定だ。本学としては、開発銀行の奨学金プログラムの下で北アフリカセンターが仲介し、アフリカの留学生や研究員を日本の大学に受け入れることや、本学から開発銀行へインターンを派遣することなどを検討している。

若手イニシアティブプログラム 研究者の育成環境を整備

英語セミナーの主催も

現在本学では、「次代を担う若手大学人育成イニシアティブ(若手イニシアティブ)」というプログラムを実施している。若手研究者を任期制で雇用し、研究業績を審査して専任教員として採用する「テニユア・トラック制」に基づいて、若手研究者を育成する環境を整備を進めることを目的

として、若手イニシアティブは、昨年5月に文部科学省の「若手研究者の自立的研究環境整備促進」プログラムに採用された。同プログラムは、テニユア・トラック制に基づいて、若手研究者に活躍の場を与えることを企画したプログラムに対して、研究費を出している。若手イニシアティブの期限は平成23年度までとなっている。

若手イニシアティブは、大学全体の教育研究水準向上のために設置された「戦略イニシアティブ推進機構(機構長:岩崎洋一学長)などの支援を受け、既存の部署の教育研究や「戦略イニシアティブ推進機構」の人で、現在人間総合科学研

究科に所属する奥脇暢准教授は、「自分の研究室を持つ以上、教育や研究に対する責任もある。しっかりと果たしていきたい」と話した。

また、5月22日〜7月17日にかけて、若手イニシアティブの主催で、英語講演のセミナーが、総合研究棟D116室で行われている。今後は6月19日、7月1日、7月17日の各日の午後6時45分から実施される予定だ。

雨の匂いを感じる季節が今年もやって来た。学内では突然の雨に自転車で急ぐ人の姿も見える。(パデストリアンデッキ上で) (撮影:篠崎真希=国際総合学類)



所属学類で必要とされていくにもかかわらず、高校で生物や数学を履修していない学生を対象に、5月10日〜6月14日にかけて、「生物学(リメディアル)」が

の1年生を中心に107人の学生が参加した。「生物学」は、昨年生物の補習講義に対するニーズがあったことから、試験的に全学対象の講座を実施した。その後のアンケート結果がおおむね良かったことから、今年も引き続き実施した。また、昨年の学類向け調査の結果、数学に関しても要望があったことから、今年「数学」も実施することになった。生物は昨年に引き続き生物学類、生物資源学類

今年から数学も開講

数Ⅲ・Cを中心に扱う

医学臨床講義室Cで、「数学(リメディアル)」が3B203教室で行われた。本学の附属学校教諭が講師を務め、生物は医学類の1年生を中心に80人、数学は国際総合学類と社会学類

の1年生を中心に107人の学生が参加した。「生物学」は、昨年生物の補習講義に対するニーズがあったことから、試験的に全学対象の講座を実施した。その後のアンケート結果がおおむね良かったことから、今年も引き続き実施した。また、昨年の学類向け調査の結果、数学に関しても要望があったことから、今年「数学」も実施することになった。生物は昨年に引き続き生物学類、生物資源学類

雨の匂いを感じる季節が今年もやって来た。学内では突然の雨に自転車で急ぐ人の姿も見える。(パデストリアンデッキ上で) (撮影:篠崎真希=国際総合学類)

第2回つくば3Eフォーラム

省エネに向けてプラン策定

2日間で1000人参加 3Eカフェで交流も

第2回つくば3Eフォーラムが、5月31日、6月1日に本学大会館で開催された。この会議は、2030年までにCO2の排出量半減とそれに関連した省エネ都市作りに向け、市内の諸研究機関が協力して取り組むことを目的としている。期間中はハイオディーゼル車の試乗会や電気自動車の展示なども行われ、2日間で市民など約1000人が参加した。

昨年12月に行われた第1回会議では「つくば3E宣言2007」を提唱し、「2030年までにつくば市のCO2排出量を50パーセント削減する」という目標を掲げた。目標達成に向け、これまで新エネルギー技術やバイオマス技術、都市システムなど分野ごとに分かれたチームで、効果的な取り組みを検討してきた。今回の第2回会議では、これらの検討に基づいた具体的な活動プランの策定が行われた。

1日目のオープニングセッションでは、井上勲フォーラム議長(学長特別補佐、生環・教授)の開会挨拶に続いて、岸田文雄科学技術政策担当大臣からのビデオメッセージが紹介された。その後、筑波研究センター削減する」という目標を掲げた。目標達成に向け、これまで新エネルギー技術やバイオマス技術、都市システムなど分野ごとに分かれたチームで、効果的な取り組みを検討してきた。今回の第2回会議では、これらの検討に基づいた具体的な活動プランの策定が行われた。



10年前の7月20日、タジキスタンの地で1人の日本人国連事務官が凶弾の前に倒れた。前筑波大学助教授の秋野豊氏である。国連平和維持活動(PKO)の任務で、反政府派指導者との交渉を終えて帰る途中の無念の死だった。来月7月19日、秋野氏の10周年追悼コンサートが開かれる。

秋野氏は国連事務官としてタジキスタンに派遣される前、1986-98年の間、本学の人文社会科学で教鞭をとっていた。日本でも知られたロシア・中央アジアの専門家だった。国際政治学者ではあったが、学生時代から柔道やラグビーを楽しんでいて、その生涯はわずか48年。「グラウンドいっぱい、自分という球を動かしたい」という本人の言葉の通り、人生というグラウンドを駆け抜けていった。

いつも人の中心にいた。人の間に入り込み、結びつける不思議な力をもって。学生がけんかしたときも

その秋野氏のタジキスタンでの任務はやはり紛争の調停だった。外務省から現地に派遣する若者を捜してほしいと依頼されたとき、秋野氏は自分が行くことを決意した。危険なことは自分が一番

調停に入り、数分で学生に笑顔に戻った。教員の団結のために「ワイン&チーズ」という企画を提案し、昼休みに学生と教員が話す集まりでは、みんなの目の前で大きなバントチーズとハムで豪快にサンドイッチをつくり

秋野豊氏 受け継ぐ国際平和のボール 10年後の今年も人を結ぶ

「学生を愛していたんだと思います」と語る。出発の日、鍛え抜かれた大きな体がその時だけは小さく、どこか寂しそうに見えた。

「最初会った時は、何だか猫か、さういふふうに思わせて、だんだん

は「学生を愛していたんだと思います」と語る。出発の日、鍛え抜かれた大きな体がその時だけは小さく、どこか寂しそうに見えた。

「最初会った時は、何だか猫か、さういふふうに思わせて、だんだん

つくば生物コンテスト 中高生が28発表 楽しみながら生物学

中高生が生物学の研究成果を発表する「つくば生物コンテスト」IBO2009つくばに向けて

東葛飾高等学校の発表

「が、5月24日、総合研究A棟、第二エリアH棟で開催された。茨城県、千葉県などから23校から166人が参加し、28演題の発表が行われた。

閉会後は、学生と市民の協働で3Eカフェが開催され、軽食をとりながら市民と大学関係者、市内の研究員などが交流を深めた。

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

早大連携プログラム 教育・研究で協力体制

本学は5月20日、早稲田大学の医学部と連携して

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

就職率 昨年度学群から95% 学内でも就職説明会

昨年度の本学生の就職率が5月22日、まとまった。学群の就職率は95%で、昨年度の88%から7%増となった。

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート



微生物に見入る来場者(総合研究A棟にて)

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

「蛇頭竜尾」という言葉を使っている。秋野先生の10周年追悼コンサート

考察・北京五輪



筑波大からの視点



今年8月に開催される北京五輪では、本学出身者学生が多く出場する。一方、水着問題やチベット問題などにも注目が集まっている。本学の教員、中国人留学生は北京五輪をどのように捉えているか。さまざまな側面から北京五輪を考察した。(本紙・牛尾仁美、馬野裕子、社会学類、篠崎真希、国際総合学類)

五輪のあり方とは

真田 久准教授に聞く

水着問題や中東の笛など、北京五輪ではスポーツにおけるさまざまな問題に、注目が集まっている。オリンピック史やスポーツ歴史人類学などを教える真田久准教授(体育)に話を聞いた。

北京五輪での水着を巡る一連の騒動について。競技では、選手が主役。どの水着を使うかは選手の自由な選択に任せなければならない。それが妨げられると問題。また、着る水着によってタイムが違ってくることも、選手本来の力がわからなくなるので問題である。

今回の水着問題のような事例は過去の五輪にあるか。

近いところでは、98年の長野五輪で、スラップスという呼ばれるスピードスケートの靴が問題になった。かかと部分とブレッドの一部の能力、しかも数値から金属製にそしてクラッシュファイバー製に変わったことも、不公平ではないかという批判があった。

おさらいになっている。それを解決するには、このような現状を変えるのが、日本の役割だと思っている。日本の「道」では、勝負に勝つことだけでなく、人間的な完成を目指すことに重点が置かれている。これは結果よりも過程を重視しているからである。よって、敗者に対しても、賞賛の言葉をかける。このような考え方は、順位や数値を重視する、欧米的な近代合理主義にはない。スポーツで交流すること、両者の良いところを

心や知性にも目を

認め合い、融合すれば、良いスポーツ文化が形成されるのではないか。

「中東の笛」についてどう思うか。

この問題は、極めて一部の人間だけに、スポーツが有され、一般市民に定着していないため起こったと考えられる。

1908年のロンドン五輪では、綱引きでイギリス人だけがスパイクを履いて競技した。イギリス人が審判をしていたので、不公平だと言ったアメリカ人の抗議を認めなかった。

これは、スポーツが文化として定着していない時代だから起こった問題だと考えられる。スポーツ文化が根付けば、不公平なことに對して誰かが非難するのを、社会の抑止力が働く。

中東の笛問題は、スポーツが文化として浸透した現代では珍しいものである。

オリンピック本来の意味とは。

地元の子どもたちと触れ合うなど、トップ選手の勝利以外の部分も重視していることが重要ではないだろうか。今回の五輪を考えると、きつかけに欲しい。

五輪と中国の社会

小嶋 華津子講師に聞く

今や政治・経済大国として台頭しつつある中国でオリンピックが開催されるといふことは、どんな意味をもつのだろうか。現代中国を研究する小嶋華津子講師(国文学)に話を聞いた。

最近よく報道されているチベット問題など、北京五輪にどのような影響をもたらすか。

確かに、アフリカのランナーが大気汚染を理由に出場を辞退したという話もあるが、1964年に開かれた東京五輪当時の大気汚染は、もっと深刻だったと言われる。中国の環境対策を

改善迫る世界の目

自国の状況を経済成長と環境保全を両立させる世界初の実験だと考えている。先ず環境技術を有効利用すること、長期的にも利益がある。一方、中国は投資型

中国からの視点

留学生座談会



日本でも注目が集まって、北京五輪であるが、中さるる中国の発展を期待しているか。

中国留学生の友会の協力を得、座談会を開いて意見を聞いた。

◇オウ・タンタンさん(文芸後期2年)、モウ・キキさん(国地前期2年)、ヒョウ・ギョウキョウさん(図情×後期2年)

五輪を北京で開催することにどう思うか。

オウ「光栄。中国人の誠意を認められた。多くの外国人に中国の素顔を見せる良い機会だと思ってる」

ヒョウ「落選した8年前よりも中国の国際的地位が上がった」

五輪を前にして、中国の雰囲気はどうか。

オウ「ボランティアの人たちが頑張っている。全力を尽くし順調に行われるよう願っている」

モウ「北京以外に住んでいる人はテレビに注目している。物価の上昇による悪影響が不安」

中国で五輪が開催される。物価が日本と同じくらいになってきたのに、収

さらなる発展に期待

と他国が対戦していたら、日本を応援する」

モウ「客観的にパフォーマンスとして五輪を見た」

ヒョウ「両方を応援したい」

五輪開催にあたっての中国の政策(強制立寄退き、メディア規制など)をどう思うか。

オウ「五輪のためなら仕方が無い。政府もやりづらと思う。中国メディアは良いことしか伝えないが、報道内容は事実」

モウ「立ち退きの際に、政府はお金を支給しているはず。プラス面もある」

ヒョウ「悪いかどうかは簡単に判断できない」

北京五輪についてのメディア報道をどう思うか。

モウ「日本メディアは、前

筑波大と五輪

多くの現役生や卒業生を五輪代表として派遣している本学だが、それだけにとどまらず、五輪と深い関係がある。

日本が初めてオリンピックに出場したのは、1912年のストックホルム五輪だ。この時、日本選手団の団長を務めたのは、本学前身の東京師範学校の校長、嘉納治五郎。嘉納は、09年に日本で初めてIOC(国際オリンピック委員会)の委員に選出され、日本への五輪招致に尽力するなど、日本のオリンピック運動を牽引し続けた。

オリンピックで、日本人最多の金メダルを獲得したのは、加藤澤男教授(体育)だ。68年のメキシコ五輪、72年のミュン



初出場から貢献

個銅メダル1個を獲得。99年には、「20世紀を代表する25選手」に、日本人でただ1人選ばれた。

2016年の五輪を東京で開催するために尽力しているのは、本学の河

は、事務総長として、活躍している。

また、大学全体として、03年からは総合科目「五輪講座」が、開講され、オリンピックムーブメントに貢献している。

このように、本学と五輪の関わりから大会会館や体育ギャラリーに、加藤教授の金メダルや五輪に出場した選手が使っていたユニフォームなどが展示されている。北京五輪を前に、一度足を運んでみてはどうだろうか。

出場予定選手

- ▽競泳Ⅱ宮下純一(ホリフクロ)▽柔道Ⅱ平岡拓晃(徳寺学園)、金丸雄介(同)、小野卓志(同)、佐藤愛子(同)、谷本歩実(小松製作所)▽バドミントンⅡ坂本修一(日本ユニシス)、池田信太郎(同)▽フエンスⅡ原田めぐみ(山形県体育協会)
 - 有力候補
 - ▽陸上Ⅱ成迫健児(ミス)、齋藤志(体専3年)▽女子サッカーⅡ安藤栞浦和レッズレディース)▽男子バレーⅡ柴田恭平(東レ)、北島武(堺ブレイザーズ)、石島雄介(同)、朝長孝介(同)、山村宏太(サントリー)
 - ◆パラリンピック
 - ▽陸上Ⅱ鈴木徹(アイエックスアイ)
- (6月11日現在)

野一郎教授(スボ医)だ。88年のソウル五輪から、96年のアトランタ五輪まで、日本選手団の本部ドクターを務め、2001年から、IOC(日本オリンピック委員会)の理事に就任した。東京オリンピック招致委員会で、約200人の受講者が集まり、人気科目の一つになっている。

03年には、そのような業績を評価し、IOC会長のジャック・ロゲ氏が、五輪講座受講者への期待のメッセージを寄せた。ロゲ氏には、06年10月に本学名誉博士の称号が授与され、記念講演が開かれた。

反射鏡

今月のテーマ 『私の テスト前夜』

心が折れてしまいます。去年、そんなときに助けになっていたのがフランス語(オーラル)テストのため。解放された2人で食べるパフェはまた特別な思い出です。

そして、つらいテスト期間を乗り越えた末に待っていたのは恒例の2人の打ち上げです。解放された2人で食べるパフェはまた特別な思い出です。

刺激をくれた 友達との勉強

藤澤藍子(比文3年) 私の場合、学類・専攻の関係上テストはあまりありません。そのかわりにレポート地獄です。これは物事や自身自身について深く見つけ直す機会であることは確かですが、やはり孤独な戦いで生きていく時代になっても、世界を見渡すと依然として自然災害による被害が発生している。

筑波時評

21世紀に入り、情報化も進み、以前よりも世界は小さくなっている。そんな時代になっても、世界を見渡すと依然として自然災害による被害が発生している。

2004年のスマトラ沖津波では22万人以上の、昨年11月にバンダラデシユ南部を襲ったサイクロン・シドロでは3千名を超える人びとの生命を奪った。去る5月初旬にはサイクロン・ナルギスがミャンマーを襲い、およそ一週間後には中国中西部の四川省でM7.9の地震が発生した。この地震による死者は

中国四川省 巨大地震 頻発する自然災害 情報技術が命救う



村尾修

今年発生した四川の地震は、この唐山地震に次ぐ地震災害となりそうである。1975年2月に遼寧省で発生した海城地震である。中国国家地震局は、地殻や動物の異常現象よりの地震を察知し、予報を出し、住民を

今年発生した四川の地震は、この唐山地震に次ぐ地震災害となりそうである。1975年2月に遼寧省で発生した海城地震である。中国国家地震局は、地殻や動物の異常現象よりの地震を察知し、予報を出し、住民を

環境レポート・視点「エコ志向は浅い流行か？」

山本泰弘(国総3年)

本紙前号の「視点・本質」に「環境」を現代の共通課題としてとらえ、前向きに取り組んでいこうとする試みがある。グローバルな課題に敏感でありライバルにその姿勢を提示して、私から「エコ」というトレンドについて新たな観点を示したい。

エコバッグをはじめとした環境志向のライフスタイルは、いま世界的に評価されている。かと言ってこれは単なる浅い「流行」で、中身の無いものだろうか？

この潮流の背景には、世界が「環境」を現代の共通課題としてとらえ、前向きに取り組んでいこうとする試みがある。グローバルな課題に敏感でありライバルにその姿勢を提示して、私から「エコ」というトレンドについて新たな観点を示したい。

留学生の目



フヤグドルジ・サインザルガル

こんにちは、僕はモンゴルからの留学生です。筑波大学の2年生で、専攻は経済学です。なぜこの専攻を選んだかというところから話します。

僕は中学校のとき数学が得意でした。しかし好きではありませんでした。好きではないのになぜか必死にやっていたかというところから話します。



旅で幸せ見つけたい

必要があることを示唆している。例えばレジ袋の消費による環境負荷は人間の活動全体から見ればごく限られた規模だが、それが象徴的な「使い捨て文化」に入ると依存し続けることは無理である。エコバッグの価値をどうにか維持し続ける必要がある。エコバッグの価値をどうにか維持し続ける必要がある。

旅で幸せを見つけないと、旅はただの移動に過ぎない。旅で幸せを見つけないと、旅はただの移動に過ぎない。

次号のテーマは「夏の思い出」です。TEL 029-8533-9999。shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

キャリア支援トークショー

有森裕子さんがゲストで来校



自身の経験から学生を激励

メンタルの原点語る

本学生へのキャリア支援 森裕子さんをゲストにト...



自身の半生を語る有森さん(大学会館ホールにて)

局の協力のもと、本学就職...

当日は、腰塚武志副学長...

環境センセーション

26団体エコ語る 折れたバットが箸に

環境問題について考え...

第1部では、楽しい、お...

座談会では、本学にス...

「若者よ、地球規模で大志...

「極限の民族」(朝日新聞...

「アラビヤ遊牧民」の三部...

「極限の民族」の影...

原点 GEN-TEN

研究室で細々とした書...

求めているものについ...

「原点」が語れるとい...

「社会」への関心に...

「原点」が語れるとい...

自らを通りすぎた原点

その中に今の私がある

「カトリックの幼稚園...

た学問への愛について...

自分のなかを通り過ぎ...

このあらわれなので...

それはそれなりに深刻...

高校の担任の教師に「原...



野上 元

「原点」が語れるとい...

「原点」が語れるとい...

「原点」が語れるとい...



山下 清海

著者の本多勝一は、当...

「アラビヤ遊牧民」の三部...

「極限の民族」の影...

食から始まる文化

極限の民族

本多勝一著

「カナダ・エスキモー」...

「極限の民族」の影...

外国の民族について調査...

「辛いあれ、海の星」の...

OBが作品寄贈

昨年度秋に文化勲章を受...

「辛いあれ、海の星」の...

現展に入選

数理学専攻が「数理学専攻...

「数理学専攻」展は...

「辛いあれ、海の星」の...



数理学専攻が「数理学専攻...

「数理学専攻」展は...

「辛いあれ、海の星」の...



留学ってどうすればいいの？

留学に憧れる学生は多い。しかし、留学に関する知識不足や準備不足で留学のマイニングを失い、留学を断念する学生もまた多い。留学するためには何が必要で、準備はどれくらいかかるのか。留学先での生活はどうなのか。留学経験者や、多くの学生を海外へ派遣してきた教授らに話を聞いた。(本紙・松本典子、光安素子、人文文学類、磯野潤、高橋俊樹、II社会学類、後崎真希、II国際総合学類)

留学まで

留学に行ってみたくて考えていても、漠然としたまま準備を逃してしまったりもする。国によって留学準備は異なるが、ここでは英語圏の大学を例に留学までの過程をみる。

まず留学の準備を始める時期だが、出発の1年半前からが理想だ。この時期までに両親などと相談し、留学することを決める。また、留学に必要な英語力の指標となるTOEFLの勉強を開始する。一般的な英語圏の留学が9月からなので、準備を始めるのは前年の3月ということになる。

毎年秋ごろに協定校への留学募集が留学生センターから出される。願書の締め

協定校への留学

今年1月から3カ月間、フランスに交換留学した矢萩雅広さん(シス情2年)は留学した理由を「自分が都市計画を学ぼうと思ったのは高校時代、パリの建築物の写真や映像などを見たことがきっかけだった」と語る。

矢萩さんの専攻は都市計画。留学先の教授の専攻は地理学で、都市計画分野における地震などのリスクマネジメントで共通する部分があった。

新たな視点手に入れる

フランスと日本との違いを聞く、現地の学生は自分の専門・意見をしっかりと持っており、活発に発言する積極性を感じたという。教授も日本とはやや異なる学生に発言がないと「その学生は内容を理解していないのでは」と思うそう。一学生に意見を求め、意見を引き出すようにするなど、多くの違いが見えた。

また他の国からの留学生についても、学習意識が高い学生が多く、あるインドの留学生は朝から晩まで「郷に入れば郷に従え」



の精神を日本の生活でも感じるようになった。授業の面でも以前は都市の問題をマクロ的な視点で見ていたが、地理学などを学び、ミクロ的視点から都市を見る重要性に気づかされた。

理系の学生の立場から見ると「留学」に対するイメージを聞いてみると「留学する人はやはり少数派。少し遠いイメージがあるのは否めない」と語る。しかし、3カ月は短かったので、もし就職活動などがなければ長期留学もしてみたい。大学2、3年などであれば自分の

1年半の準備が必要

決定後は出発までに学内でオリエンテーションが開かれ、入国管理を含む書類手続き、海外生活における危機管理について説明がある。ビザは夏休みに取得希望者が増えるため、時間がかかるといわれるのでできるだけ早く準備を進めたい。

フランスと日本との違いを聞く、現地の学生は自分の専門・意見をしっかりと持っており、活発に発言する積極性を感じたという。教授も日本とはやや異なる学生に発言がないと「その学生は内容を理解していないのでは」と思うそう。一学生に意見を求め、意見を引き出すようにするなど、多くの違いが見えた。

ソコンの前で学習をし、「留学しに来たからには学ぶ」という熱い思いを持ったスライムが活躍を披露した。自分よりも確固たる意識を持っていて面白かった。そのような留学経験を通して矢萩さんのなかにもさまざまな変化が起きた。「英語が通じらないう」と思っていたが、日常生活で行ったが、日常生活で言葉の壁にぶつかった経験から、その国への習慣に「郷に入れば郷に従え」

教員から見た留学

留学に際しては、教員からは異なることがわかる。一点「自信がつかない」点を挙げている。特に、多くの留学生を見てきた教員の言葉には、参考にするべき点がある。ここでは、2人の教員から、留学の意義や、心構えを聞いてみた。

国際総合学類のゼミを担当し、多数の留学経験者を知る鈴木一人准教授(国共)は、「基本的に留学は行きたいのであればどんな行先もよい」と考えている。留学の意義として、「日本と違つことや、自分の常識と

海外では、異なる文化や予期せぬハプニングに出会う。そうした未知なる環境に身を置き、自分の視点の1つとすること自体に、大きな学びがある。また、自分で考えて行動し、目に見えない形で評価が出た時もある。ガイドブックにない発見をすることも多い。そうした発見を見出すための「テーマ設定」が大

目的もった留学を

留学を「特別に何かを学ぶもの」というよりも、将来に向けて意識を高めるためのもの」と考えている。

留学の意義としては、「視野が広がること」を挙げている。田中教授は高校時代に留学していたが、大学卒業後、臨床研究のために渡米した時、ほとんど現地の英語が分からなかった。その経験から「大学時代のわ

語学留学

「自分の考えをしっかりと持つこと、主張を伝えること。この基本的なことが本当に大切だ」と昨年アメリカのコロラド大学に1カ月間語学留学した尾崎綾子さん(国際4年)は話す。

小さい頃から語学教室に通い、海外に興味があったという尾崎さん。「生の英語を学び、多くの価値観を持った人と出たい」と留学を決意した。「積極的に情報を集めなければ何も入ってこない。まずは留学説明会へ足を運んだり、インターネットで調べてみる。わからないことは先輩や留学生センターに聞いてみる」と自分から情報を探

自らの視野を広げるため、どんな学問を学ぶ学生であっても面白く思うという。たしかに自分の所属する学群・学類によって留学は遠いものかもしれないが、



右から二番目が尾崎さん

求められる個人の意見

人の意見が常に求められ、自分の考えを英語で伝えるにはなかなかなかった。日本人同士でいる時も英語を話して、徹底的に英語を体にし、徹底して英語を話した。留学中は、世界各国から集まった多くの留学生と出会い、多種多様な価値観に触れるなかで、考え方の違いに違和感を覚えることがあった。例えば、日本人は「夜は歩くな」という

たのだという。そして、留学に際しては、「目的意識を持つこと」を心がけるべき」と田中教授は話す。学生に対しては、「将来の留学こそが本番。それになるような目標を持って留学に望んでほしい」とメッセージを送る。

それぞれ立場は異なるものの、鈴木准教授も、田中教授も、共に強調しているのは「課題意識を持つこと」だ。せっかくの貴重な体験をうまく生かすためにも「なぜ海外に行くのか」「海外に行つて何をやるのか」を今からしっかりと考えておきたい。

考えを持っているが、逆に「夜は街に遊びに出る」という国もある。「場の雰囲気」に流されず自分の気持ちをしっかりと伝えたい。でも、せっかくできた友情が壊れてしまつてもいい。「英語を学ぶ一方、かがえのない経験もした。ロッキー山脈に登つて、空の近さや周囲の山の素晴らしい景色に圧倒された。メジャーリーグを観戦に行つたりした。「興味関心を持っていくこと以外に目を向けて視野を広く持つ。異国の地では、今まで経験してこなかったことを学びたい」と語る。

尾崎さんは留学して人の輪が広がったという。「国際社会にはいろんな人がいる。その人の立場、生き方や考え、背景の文化を認め、互いに理解しあうことが自分の世界を広げてくれるのは日本も世界も変わらないよ。」

行きたい!知りたい!

留学先からの手紙

渡辺優 (国総3年)

私は去年の8月からフィリピン、12月からイギリスに留学にきています。留学を決意したのは、「研究したい内容が決まらない」「このまま就職なんて考えられない」といった、消極的な理由でした。

まずフィリピンを選んだのは、以前訪れたことがあり、ホスピタリティー溢れるフィリピン人が大好きだったこと、超少人数制で英語が集中的に学べることに、そして安さです。今回行く国では語学の勉強だけではなく、経験を重視したかっ



最初の留学先のフィリピンで。(一番左が渡辺さん)

たわけです。ただ、英語の勉強ばかりではつまらないので、近くのリゾートに行ったり、大学の日本語講座のアシスタントをさせてもらったりしました。海外生活が続くにつれ、また、学校は最低1日3時間通えばいいので、残りは全て自由時間です。私は語学学校だけでなく、市民講座でいくつかの講座を勉強しています。大学の教員も多分、パートタイムコースなども豊富で、誰にでも学べる機会が用意されています。また、日本のある新聞社でアルバイトをさせてもらっています。そして生活の大部分を費やしているのが、お年寄りのデイケアセンター、子供達に環境教育を行っている農場、若者向け情報サイトを運営する登録チャリティーでのボランティアです。そこで出会った人びとは興味がいっぱい、友達になるきっかけになります。このように、

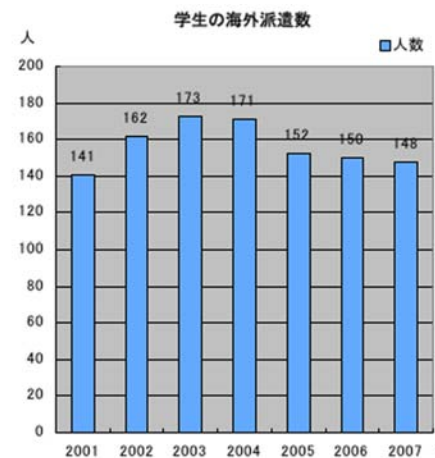
自分の興味を追求

時間運ばいいので、残りは全て自由時間です。私は語学学校だけでなく、市民講座でいくつかの講座を勉強しています。大学の教員も多分、パートタイムコースなども豊富で、誰にでも学べる機会が用意されています。また、日本のある新聞社でアルバイトをさせてもらっています。そして生活の大部分を費やしているのが、お年寄りのデイケアセンター、子供達に環境教育を行っている農場、若者向け情報サイトを運営する登録チャリティーでのボランティアです。そこで出会った人びとは興味がいっぱい、友達になるきっかけになります。このように、

弾み、友達になるきっかけになります。このように、

視点

本学生の留学を仲介し、これまで多くの留学経験者を見てきた木下太志教授(国共)は「希望する人は誰でも留学してほしい」と語る。実際協定校に留学する場合は、留学の希望者数と募集枠にあまり差がなく、ほぼ希望通りの大学に留学できるようだ。



2005年からは約150人で横ばい

「希望」通りの留学となるかは分からない。留学先から帰国した学生からは「日本でもっと専門性を高めてから行けばよかった」「英語力が足りず、授業について行けなかった」という声もあがっている。留学後はもちろんだが、留学前の準備期間をいかに利用することも充実した留学にするポイントのようだ。現在、本学からの年間海外派遣者数は院生・学部生合わせて1500人ほど。これに対し、本学が受け入れている留学生数は13000人と、派遣数と受け入れ数の釣り合いがとれていない。大学では、最終的に年間10000人を海外派遣することを目指し、具体案を検討している。



地球が属する天の川銀河のお隣さん、アンドロメダ銀河。美しい円盤と中心部の楕円体から成り、肉眼でも見ることができるとの銀河が「涙」を流していることを「涙」知らずか。「アンドロメダの涙」



アンドロメダ銀河

銀河衝突が生んだ「涙」

アンドロメダの涙

森准教授が研究者になるに決めたのは中学生の時。物理が好きで、大宇宙物理学に進んだ。宇宙物理学がカリフォルニア大学ロサンゼルス校のマイケル・リッチ教授と共に解明した。研究成果は3月26日の日本天文学会で発表され、大きな反響を呼んだ。

森准教授が研究者になるに決めたのは中学生の時。物理が好きで、大宇宙物理学に進んだ。宇宙物理学がカリフォルニア大学ロサンゼルス校のマイケル・リッチ教授と共に解明した。研究成果は3月26日の日本天文学会で発表され、大きな反響を呼んだ。

共同研究の結果は、約10億年に1回程度の割合で銀河衝突が起こり、これが銀河の進化に大きな影響を与えていることを示唆しているという。「アンドロメダの涙」にまつわる謎を解明したことは、広大な宇宙の中で小さなことかもしれない。しかし今回の研究が宇宙の謎を解明する一つのステップになったこと

卒業生からの手紙



こんにちは。今から30年以上も前の1976年(開学して3年目)に入学した瀬澤と申します。当時も研究学園都市も建設途上で、土浦からのバスも峠道を縫って大学に辿り着く始末でした。宿舎と大学の道路は雨が降ると小川になり、長靴すら役に立たず、逆にサンダルなどでジャブジャブ渡ると言った状況でした。今となっては懐かしい思い出です。



「ご縁」がつくる現在の自分 薩摩大使 瀬澤洋さん

二つ目が、小生が、日本政策投資銀行南九州支店長を離任した後就任した「薩摩大使」です。「薩摩大使」は、鹿児島県を元鹿兒島の方々ときまじく「ご縁」(具体的に)は、本来の出融資業務に加え、県市での各種委員会活動、経済同友会での活動、同じマンションでの交流会など)で多数の

また、鹿児島県は、北は霧島から、屋久島、種子島、奄美群島迄が県域の有力観光地です。NHK大河ドラマ「篤姫」(鹿児島出身のお姫様)の人気も上々です。その際放映された開門岳や櫻島も含め訪ねた地や人々を思い起こせば限りがありません。赴任時代に受けた地元の皆様「ご縁」に少しでも報いるため、鹿児島のアピールを行なうのが「薩摩大使」の役目なのです。皆様、今後ともご健勝でございませう。ご縁」を大切にしつつ、各界でご活躍されますようご祈念申し上げます。(昭和54年度第一学群社会学類卒、日本政策投資銀行より都市総合整備課へ副社長として出向中、薩摩大使)

スポーツの舞台裏

第3回 スポーツ心理

1000分の1秒を争う競技や、チームメイトとの連携が必要な競技、高度な心理戦が要求される競技。スポーツでは、日常生活では感じないような心理的負担がかかる。トップアスリートの世界にはストレスが多く、時にはそれが、身体の異常として表れることも多い。

イップスと呼ばれる動作失調は、世間にもよく知られている。ピッチャーが、コントロールを定められなくなった、腕が途中で止まってしまう。

アスリート特有の悩みに対処

心理技法学び活躍する選手も

起ころ。このようにスポーツ選手の動きの崩れの背景にはしばしば心理的課題・問題が見え隠れすることがある。

そのようなスポーツ選手の悩みを解決するのがスポーツカウンセラーである。本学でも、体育総

合実験棟(SPEC)の3階で、心理相談などを行っている。スラングやケガ、意欲の低下などの悩みを持った学生が、年間を通して、40~50人訪れるという時間にして年間400~5000時間。数回で問題が解決する仕方もポジティブシンキングなど、心理技法を身につける。数人のグループに分かれて、それぞれに指導者がつき、グループディスカッションを行う。また、クラスで絵を描くなど、自己表現を行うプログラムもあるという。



箱庭療法で用いられる (SPEC)

競技でのパフォーマンスが上がったり、次のシーズンで結果を残したりする参加者も多いという。「講習会によって、冬季トレーニングへの取り組み方などが変わるのではないかと」中込教授は分析する。

心理学的なトレーニングは、自らの能力を十分に発揮させるだけではない。団体競技でのコミュニケーションなど、人間関係にも影響を与える。同じ部の数人グループで、砂が入った枠におもちゃや人形を配置する箱庭療法を2、3カ月続けたところ、試合でのコミュニケーションが円滑になったという。

日本には、古くから「心技体」という言葉がある。スポーツで結果を出すためには、技術や身体的能力だけではなく、精神も鍛えなければならぬ。トップアスリートの心を支え、強くなるため、心理のプロフェッショナルは活躍している。

(本紙・馬野裕子「社会学類」)

男子5シーズンぶり優勝

関東学生ハンドボール春季リーグ

ハンド

関東学生ハンドボール春季リーグが4月12日~15月25日にかけて、日本体育大学健志台体育館(横浜市)などで開催された。本学男子は5月16日、全勝で迎えた早稲田大との最終戦を33-27で制し、5シーズンぶり18回目の優勝を果たした。女子はキャプテン高橋恵(体専4年)など主力メンバーのけがで苦しい戦いを強いられしたが、2位と健闘した。

序盤は拮抗した試合が続いていたが、前半15分ごろから、日体大のミスが目立ち始める。そこを逃さず速攻につなげ、徐々に日体大を引き離し、15~11で前半を折り返した。

後半は、開始3分過ぎに本学が16点目を先取りし、5点差に持ち込んだ。しかしそこから日体大のシュートが決まりだし、30~29の1点差にまで詰め寄られる。そのまま日体大に逆転を許すかに思われたが、29分13秒、キャプテン木村雅俊(同4年)がミドルシュートで31点目を得点。その後後半は日体大に30点目を許したものの、そのままタイムアウトとなり、31~30で本学が勝利した。

5月16日に行われた早稲田大との最終戦は、前半を15~13の2点リードで折り返した。後半は早稲田大のミスが続く、そこから得点に結びつけた。

後半は開始4分48秒から本学が6連続得点を決め、その勢いを保ったまま33~27で勝利した。

大西武三監督(体育・教



シュートする佐藤泰吉(体専2年)

男子は5月11日、昨年の王者日体大と全勝対決を迎えた。日体大とは昨年の春

拓殖大に敗れ、準優勝

関東大学選手権 バスケ

バス

第42回関東大学女子バスケットボール選手権大会が5月12~27日にかけて国立代々木競技場第2体育館(東京・渋谷区)などで開催された。本学は決勝で拓殖大と当たり、64~75で敗れ2位となった。

5月18日、1位の東京女子体育大と2次リーグ最終戦を行った。1次リーグで、本学は東京女子体育大に勝利した。これにより2点差で惜敗し、唯一の敗北を喫している。

本学は、石立真悠子(体専4年)を中心に試合の流れを作り、前半を13~12の

しかし後半、拓殖大に連続得点を許し、そのまま逆転される。徐々に拓殖大が勢いに乗り始めたが、大鷹さおり(体専3年)のスリーポイントシュートで再び逆転。54~53の1点リードと

は、5月18日、1位の東京女子体育大と2次リーグ最終戦を行った。1次リーグで、本学は東京女子体育大に勝利した。これにより2点差で惜敗し、唯一の敗北を喫している。

本学は、石立真悠子(体専4年)を中心に試合の流れを作り、前半を13~12の

しかし後半、拓殖大に連続得点を許し、そのまま逆転される。徐々に拓殖大が勢いに乗り始めたが、大鷹さおり(体専3年)のスリーポイントシュートで再び逆転。54~53の1点リードと

は、5月18日、1位の東京女子体育大と2次リーグ最終戦を行った。1次リーグで、本学は東京女子体育大に勝利した。これにより2点差で惜敗し、唯一の敗北を喫している。

本学は、石立真悠子(体専4年)を中心に試合の流れを作り、前半を13~12の

しかし後半、拓殖大に連続得点を許し、そのまま逆転される。徐々に拓殖大が勢いに乗り始めたが、大鷹さおり(体専3年)のスリーポイントシュートで再び逆転。54~53の1点リードと

授は「小柄なチームなので、スピードとコンビネーションを武器に勝負した。これからさらなる個々の選手のレベルを上げ、秋季リーグでも優勝を目指したい」と語った。

1次リーグ2位の女子

は、5月18日、1位の東京女子体育大と2次リーグ最終戦を行った。1次リーグで、本学は東京女子体育大に勝利した。これにより2点差で惜敗し、唯一の敗北を喫している。

本学は、石立真悠子(体専4年)を中心に試合の流れを作り、前半を13~12の

しかし後半、拓殖大に連続得点を許し、そのまま逆転される。徐々に拓殖大が勢いに乗り始めたが、大鷹さおり(体専3年)のスリーポイントシュートで再び逆転。54~53の1点リードと

は、5月18日、1位の東京女子体育大と2次リーグ最終戦を行った。1次リーグで、本学は東京女子体育大に勝利した。これにより2点差で惜敗し、唯一の敗北を喫している。

本学は、石立真悠子(体専4年)を中心に試合の流れを作り、前半を13~12の

しかし後半、拓殖大に連続得点を許し、そのまま逆転される。徐々に拓殖大が勢いに乗り始めたが、大鷹さおり(体専3年)のスリーポイントシュートで再び逆転。54~53の1点リードと

は、5月18日、1位の東京女子体育大と2次リーグ最終戦を行った。1次リーグで、本学は東京女子体育大に勝利した。これにより2点差で惜敗し、唯一の敗北を喫している。

本学は、石立真悠子(体専4年)を中心に試合の流れを作り、前半を13~12の

しかし後半、拓殖大に連続得点を許し、そのまま逆転される。徐々に拓殖大が勢いに乗り始めたが、大鷹さおり(体専3年)のスリーポイントシュートで再び逆転。54~53の1点リードと

は、5月18日、1位の東京女子体育大と2次リーグ最終戦を行った。1次リーグで、本学は東京女子体育大に勝利した。これにより2点差で惜敗し、唯一の敗北を喫している。

本学は、石立真悠子(体専4年)を中心に試合の流れを作り、前半を13~12の

4月12日から実施されていた、関東大学バレーボール春季リーグ女子1部の残り2試合が、5月17、18日に青山学院大学記念館(東京・渋谷区)で行われた。本学女子は17日の青学大戦には3~1で勝利したが、18日の嘉悦大戦は2~3で敗れ、6勝1敗。セット率で嘉悦大、青学大に次ぐ3位となり、優勝を逃した。

昨年の秋季リーグに続き、二季連続の優勝を狙った女子は、5戦全勝として、17日に同じく全勝だった青学大と対戦した。第1セットは中盤にリードを奪

った。しかしその後も拓殖大が連続得点を決め、64~75で敗れた。

大高敏弘監督(体育・教)は「ブロックの東京学芸大との決勝で苦戦したのが尾を引いた。秋のリーグ戦に向け、相手のリバウンドを取って得点につなげる力を徹底して磨きたい」と語った。

個人賞は以下の通り。▽敢闘賞、アシスト王▽有明葵衣(同4年)▽ベスト8賞▽大鷹さおり

は、5月18日、1位の東京女子体育大と2次リーグ最終戦を行った。1次リーグで、本学は東京女子体育大に勝利した。これにより2点差で惜敗し、唯一の敗北を喫している。

本学は、石立真悠子(体専4年)を中心に試合の流れを作り、前半を13~12の

しかし後半、拓殖大に連続得点を許し、そのまま逆転される。徐々に拓殖大が勢いに乗り始めたが、大鷹さおり(体専3年)のスリーポイントシュートで再び逆転。54~53の1点リードと

は、5月18日、1位の東京女子体育大と2次リーグ最終戦を行った。1次リーグで、本学は東京女子体育大に勝利した。これにより2点差で惜敗し、唯一の敗北を喫している。

本学は、石立真悠子(体専4年)を中心に試合の流れを作り、前半を13~12の

しかし後半、拓殖大に連続得点を許し、そのまま逆転される。徐々に拓殖大が勢いに乗り始めたが、大鷹さおり(体専3年)のスリーポイントシュートで再び逆転。54~53の1点リードと

と1点が取れず逆転を許し、28~30でセットを落とした。続く第2セットも勢いに乗る嘉悦大の攻撃を止めることができず、22~25で落とした。

しかし、第3セットからはサーブで主導権を握り、第3セットは25~21で、勢いに乗った第4セットは25~10と大差を取った。

迎えた最終セットも試合を優位に進めたが、チェンジコートをしてからそれまでの勢いが影を潜め、得点を決められなくなった。点差は次第に縮まってついに追いつかれ、最後は14~16でセットを落とし、試合に敗れた。中西監督は「2セット落ちてから切り替えられたのは良かったが、

最後は勝ちを意識しすぎたのか、攻撃が単調になってしまった」と話した。その一方で、「春季リーグは準備期間。6月の東日本インカシからが本当の勝負になる」とも話した。

個人賞は以下の通り。▽【女子】ブロック賞▽樋口美紀(体専3年)▽新人賞▽野末夏子(同1年)

マウンドに送るが、1アウト1塁、3塁のピンチを作る。しかし、ここで併殺を取って切り抜け、味方の援護を待つ。

16回裏、塩沢がタイムリーヒットを放ち、サヨナラ勝ちを収める。延長16回、4時間50分の死闘を制した本学は、Aクラス入りに望みをつなぐ、3つ目の勝ち点を挙げた。

最終週となる5月24日の日体大戦。坪井は7回まで粘りのピッチングで0点に抑え、8回表、本学は連続ヒットで、1点を先制する。

しかしその裏、先頭打者に出塁を許すと、送りバントにエラーが絡み、1死1、3塁。次の打者を三振に仕留めるが、続く打者に走者一掃の3塁打を浴びる。1~2と逆転され、痛い敗戦を喫した。

26日の今シーズン最終戦でも、健闘及ばず、Aクラス入りを果たすことは出来なかった。

川村卓監督(体育・講師)は、「今シーズンは、投打が噛み合わなかった。特に1、4番が機能せず、守備も大事なところでエラーが出るのが多かった。秋に向け、声の掛け合いなど基本的なことから見直していく」と話した。

4月12日から平塚球場(神奈川県平塚市)などで行われていた首都大学野球春季リーグが、5月26日に終了した。本学は、6勝6敗、勝率5割の4位に終わった。

12日の帝京大との1回戦で、完封勝利を収めた本学は、続く帝京大との2回戦で、1回表に先制点を許し、2回表にも1点を追加される。しかし、2回裏に日高一晃(体専4年)の2ランホームランで試合を振り出しに戻す。

4回裏にスリーベースヒットで出塁を許すと、続く打者にタイムリーヒットを打たれる。さらに岩崎晃(同4年)のワイルドピッチで1点を追加され、2点のビハインドを背負う。

2点を追う本学は、5回裏、6回裏とツーアウト満塁のチャンスを作るが、あと一本が出ない。しかし、7回裏に、原悠介(同2年)、塩沢佑太(同2年)のタイムリーヒットで同点に追いつくと、久保貴大(同1年)が好投。両者一歩も譲らず、延長戦に突入する。

14回表、本学は前日の試合で好投した坪井を連投で経験した。秋のリーグ戦に慣れた坪井は、先頭打者に出塁を許すと、送りバントにエラーが絡み、1死1、4番が機能せず、守備も大事なところでエラーが出るのが多かった。秋に向け、声の掛け合いなど基本的なことから見直していく」と話した。

4月12日から実施されていた、関東大学バレーボール春季リーグ女子1部の残り2試合が、5月17、18日に青山学院大学記念館(東京・渋谷区)で行われた。本学女子は17日の青学大戦には3~1で勝利したが、18日の嘉悦大戦は2~3で敗れ、6勝1敗。セット率で嘉悦大、青学大に次ぐ3位となり、優勝を逃した。

昨年の秋季リーグに続き、二季連続の優勝を狙った女子は、5戦全勝として、17日に同じく全勝だった青学大と対戦した。第1セットは中盤にリードを奪

つた。しかしその後も拓殖大が連続得点を決め、64~75で敗れた。

大高敏弘監督(体育・教)は「ブロックの東京学芸大との決勝で苦戦したのが尾を引いた。秋のリーグ戦に向け、相手のリバウンドを取って得点につなげる力を徹底して磨きたい」と語った。

個人賞は以下の通り。▽敢闘賞、アシスト王▽有明葵衣(同4年)▽ベスト8賞▽大鷹さおり

関東陸上インカレ

女子総合で16連覇果たす

男子健闘するも総合3位

国際大会 齋藤雪辱果たし二冠

陸上

第87回関東陸上インカレが5月17-25日の4日間、国立競技場(東京・新宿区)などで行われ、女子が総合優勝、16連覇を果たした。男子は3位に終わり、男女アベック優勝はならなかった。

女子は初日に1500メートルの品田貴恵子(体専3年)が4分30秒84で優勝。品田は4日目の800メートルでも2分7秒87で優勝を果たした。また、同じく4日目の円盤投げでは緒方えりこ(同)が43メートル89で優勝するなど上位3位を独占し、総合優勝に大きく貢献した。フィールド競技の得点で2位以下を大きく引き離し、総合得点

は2位の中央大と37点差の1355点で、貫禄を見せた。一方男子は初日にやり投げの山田啓太(同)が72メートル83で大会2連覇。2日目には100メートルの齋藤仁志(同3年)が10秒45、4日目には400メートルハードルの岩瀬佑貴(同4年)が50秒02で優勝を果たした。しかし、フィールド競技で得点が伸びず、総合得点は94・5点で、日本大、順天堂大に次ぐ3位に終わった。

5月10日に大阪市長居陸上競技場(東住吉区)で行われた国際グランプリ陸上大阪大会2008(主催II日本陸上競技連盟)の200メートルにおいて、

位に終わり、「雪辱を果たしたかった」と齋藤。気温が低かった上に雨が降りしきる最悪のコンディションだったが、最初から前に出て、逃げ切りを図る自分のスタイルを貫いた。自己ベストには及ばなかったものの、直前の静岡国際で敗れていた高平慎士(富士通)や、昨年のアジア選手権を制した藤光謙司(日大)らをおささずの優勝に「勝ったこと自体に意味がある。本当に嬉しかった」と齋藤は話した。

齋藤は6月26-29日に行われる日本選手権にも出場。「3位以内に入って北京五輪出場を決めたい」と話した。



齋藤 仁志



前期最終節の国士大戦。右は本学の木島。

精神面に課題残る

サッカー

4月から国立西が丘サッカー場(東京・北区)などを会場に行われている関東

前期全体を通してチームの調子について、内藤清志(ヘッドコーチ(体育2年))は「試合ごとにムラがある。うまく行かない時はそれが続き、自分たちで立ち直れないなど精神面に弱さがある」と話した。

リーグ前半、チーム内で

目立った動きを見せているのはFWの西川優大(体専4年)。今期9得点を挙げ、1部リーグの12チーム中得点で1位。また、チームの中心選手の永芳卓磨(同4年)も良い精神状態で安定したプレーを続けている。

西川の他にも、得点ランキング10位圏内に木島悠(同4年)が5位(6点)、小澤司(同2年)が10位(4点)などチーム全体として決定力はあるものの、失点数については、本学が28点と、失点数2位の東京学芸大の22点と比べても、圧倒的に多いが目立つ。

今後7月に行われる第32回総理大臣杯全日本大学サッカー選手権大会や、リーグ後半に向けて、内藤ヘッドコーチは「点は取らねばならぬ。チームとして取り返す。チームも多くの選手がどれだけヘルニアアップできるか。それでチームとして結果に繋がれば良い」と話した。

総理大臣杯の関東代表決定戦は6月7、14、15日、本選は7月6、8、10、12日に行われる。関東リーグ(体育2年)は2位(記録14秒09)▽榎高誠・川口直哉(体専3年)2位(記録15メートル30)【女子】▽砲丸投げ・佐藤あずさ(同2年)1位(記録14メートル93)▽円盤投げ・高橋亜弓(同1年)1位(記録1147メートル85)

関東学生選手権

剣道

菊池、接戦制し優勝

本学から9人が全国へ

7月に行われる全日本女子学生剣道選手権大会の予選を兼ねた第40回関東女子学生剣道選手権大会が5月17日に、東京武道館(東京・足立区)で開催された。478人が集まり、本学からは10人の選手が出場。昨年の同大会でベスト8だった菊池愛乃(体専4年)が優勝した。本学からは6人が全日本学生大会に出場する。

初戦から順当に勝ち上がった菊池は、6回戦で美波末依(同3年)との筑波大学対決を制した。続く準決勝の山井友里(清和)戦では、まさに二振り。開始の合図と同時に小手を続けざまに決めて勝ち上がった。有田祐二監督(体育・講師)が「今日の菊池は良かった」と褒めるほどであった。

準決勝の相手は、6回戦で高山智美(体専4年)を破った、高校時代の後輩でもある迫美樹(法政大)。試合は延長戦までもつれ込む接戦だったが、飛び込んで小手を奪い、決勝進出を決めた。決勝では桑原里奈(東海大)と対戦。菊池は序盤、飛び込んで面の有効打を決めた。その後は、攻め合うも互いに有効打はなく、菊池の勝利が決まった。菊池は「運が良かった」としか言えない。全日本に出場出来るのが何より嬉しい」と笑顔で話し、「個人では最後の試合なので、悔

いが残らないようにしたい。秋の団体につながるような試合が出来れば」と全日本に向けて意気込んだ。有田監督は菊池に関して、「今まで自身に課題を与えて取り組んできた結果が実った。自信になったと思」と述べ、全体に対しては、「現在は、どこの学生が成績を収めてもおかしくない。その中でも勝てたのは良いこと。全国では持っている力を出せるようにしてほしい」と日々の練習により一層取り組むよう激励した。

全日本大会には菊池のほか、ベスト16の大澤朋代(体専4年)、高山、美波、敗者復活戦で出場権を獲得した鈴木愛梨(同3年)、金井若葉(同2年)が出場する。

全日本学生剣道大会の予選を兼ねた第54回関東学生剣道選手権大会が5月11

日、日本武道館(東京・千代田区)で行われた。同大会には493人が集まり、本学からは8人が出場し、遅野井直樹(体専2年)が3位に入賞した。

遅野井は2回戦で同大会昨年2位の升田良(中央大)と対戦。プレッシャーのかかる一戦だったが、小手を続けざまに決め、あっさり勝ち上がった。その

後、順当に勝ち上がり、準決勝に進出。相手は一昨年、今年度優勝者の皇中宏輔(国士館大)だった。負けて当然だが、一本取ってやる」という意気込みで望んだ遅野井。激しい打ち合いの末、延長戦へ。延長でも長期戦へともつれ込んだが、遅野井がふっと力を抜いて手を上げた所で胸を抜かれ、敗退が決まった。

遅野井は「個人出場は初めてだが、この結果は嬉しむ。全日本でも上を目指して結果を残し、秋の団体に繋ぎたい」と今大会の感想と、決意を語った。

鍋山隆弘監督(体育・講師)は遅野井について「優勝する力は持っている。身を投げ出して飛び込んで行くのが、遅野井がふっと力を抜いて手を上げた所で胸を抜かれ、敗退が決まった。遅野井は「個人出場は初めてだが、この結果は嬉しい。全日本でも上を目指して結果を残し、秋の団体に繋ぎたい」と今大会の感想と、決意を語った。

栗野は非常にオーソドックスな柔道をする。右組みの、キレがある青負い投げを中心としたスタイルだ。どんな相手にも対応できる柔軟性が特徴で、どうしても力負けしてしまふ外国人選手にも、その武器で戦うことができる。

栗野が柔道始めたのは5歳の時。当時兄が柔道をしており、その影響だった。そのまま小中と



73kg級の新時代を支える 栗野靖治 (体専2年)

手は、くしくも高3のインターハイで敗北を喫いた中矢力(東海大)だった。得意の青負い投げで技有りを取って勝利し、栗野は見事にリベンジを果たしたのだ。

同階級で北京五輪代表を破るという破竹の勢い

謙虚なチャンピオン

栗野は「柔道は頑張る。目標は『柔道を頑張るとどこまで頑張りたいか』と頑張りたい。しかし、岡田監督は欲を持って、淡々とではなく、チャンピオンを狙った取り組みを目指してほしい」と激励する。努力を惜しまない若手アスリートに期待が寄せられる。(本紙・柏葉II社会学類)

記録ファイル

2008日本学生陸上競技個人選手権大会(6月6-8日)【男子】▽110メートルハードル・吉永一行(体育2年)112位(記録14秒09)▽榎高誠・川口直哉(体専3年)112位(記録15メートル30)【女子】▽砲丸投げ・佐藤あずさ(同2年)1位(記録14メートル93)▽円盤投げ・高橋亜弓(同1年)1位(記録1147メートル85)



「追っかけ玉入れ」での一コマ

第32回 スポーツに燃えた2日間

球技中心に全10種目

学生、教職員がスポーツを楽しむ第32回スポーツデーが5月17、18の両日、野球場など17会場で開催された。好天に恵まれ、延べ6316人が参加した。当初予定されていた、ソフトボール男子部門ガチンコ

カップの優勝チームと茨城ゴールデンゴーストとの試合は相手選手のけがなどで中止となった。各会場では、正式種目のソフトボールやハンドボールなど5種目のほか、蹴球部による早稲田大学との公

学生と文学界

奈美子

土井雅也

奈美子は美しい。黒く、癖のない髪を巻き上げて、そのきよらかな首筋を見せる。広い両頬は白く、見る者にまぶしさを与えた。そうして右の頬にはふたごのように連なった

小さな黒子もある。このふたつが巻き上げられた髪に隠れぬところにあるのは、たいへんな幸이었다。奈美子の髪を掻き上げてやらすと、すなわち奈美子の恋人にならずとも、男たちはこの美しい黒子を愛でることができるのである。実際、彼女はよくもてた。学類のなかでは、いったい誰が奈美子を射止めるかという話題で持ちきりになることがし



ばしばあったし、ゼミの担当教員ですら、決して口には出さぬが奈美子のことをきいだと思っ、その授業を楽しみにしている。この日もきよやかな午後

所は、中央図書館エントランスのスターバックスコヒーだった。「妹が買ってきてくれた

いへアクリップであった。しかし男はそれを見ずに、奈美子の右頬へ視線を投じている。ふ

「妹が買ったんだよ」と彼女は言う。それは赤い瑪瑙の破片がはめ込まれたかわいらしい

「妹が買ったんだ」と彼は言う。正直に答えた。奈美子の薄くくちびるを見つめながら

「それこそなんだ」と、どうやら言っていたらしい。それもそうだな

「妹が買ったんだ」と彼は言う。正直に答えた。奈美子の薄くくちびるを見つめながら

「それこそなんだ」と、どうやら言っていたらしい。それもそうだな

「それこそなんだ」と、どうやら言っていたらしい。それもそうだな

中国四川大地震 中国留学生が募金活動 学内外問わず多くの支援

先月12日、中国の四川省で起きた大地震の救援活動

分を守る、という意味で効果は大きい」と評価する。

「わたくし、あれよくわからないうちに、一度手許のコーヒーに口をつけてから、

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

セーフティプロジェクト

街頭で新規定の周知図る

今月10日、今回で第2回となる「自転車利用者に対する街頭指導活動」が、つくば駅周辺のペDESTリアンデッキなどで実施された。今月1日に改正された「自転車の交通等に関する交通ルール」の周知を目的とし、チラシや反射板が

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ

自転車盗難

大学周辺で多発

つくば市内で、本学生が関係する自転車盗難被害が多発している。昨年度の

副議長決まる

全代会

いた全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の今年度の副議長が5月14日の投票により、清川朝日(知

虫男捕まる

昨午5月頃からつくば市

内、「虫が付いている」と女性に話しかけ、体を触る被害が12件ほど発生している。5月17日、筑波大学

原稿募集!!

字数: 1000字程度、メ切: 7月31日

掲載はペンネームでも可です。氏名・所属を明記の上、下記のアドレスまでお送り下さい。shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

学生論壇

社会への声

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それぞ



君が来なくちゃ始まらない!

回祭 34 舎 第宿

ゆかコン嬢、雨の中で舞う

会場に多数の超人現る

「君が来なくちゃ始まらない!」をキャッチフレーズに、5月23・24日、第34回宿舎祭(よどかり祭)が開催された。昨年の前夜祭は雨天のため中止されたが、今年は天候に恵まれ、無事行われた。本祭は悪天候に見舞われ、ゆかたコンテストが30分繰り上がった上で行われるなどの影響を受けた。模擬店は、前夜祭(本祭)を合わせて84団体が出店した。(本紙・光安素子II人文学類、磯野潤、牛尾仁美、馬野裕子II社会学類、篠崎真希II国際総合学類、柏葉、泉剛司II社会学類)



ゆかたコンテストグランプリのソニヤさん

前夜祭

23日午後4時半、よどかり祭実行委員会による和太鼓の演奏が始まった。前夜祭の和太鼓演奏は昨年雨で中止だったため2年ぶりとなった。この日も雨が心配される中、その湿った空気を震わせた。演奏が終わると、実行委員が威勢よく開会を宣言。よどかり祭の前夜祭が幕を開けた。メインステージではバンド演奏などが行われ、会場は一気に熱気を帯びた。

大学グッズ

学生制作グッズ商品化

昨年特設自由科目「筑波大学を創る」を受講した学生たちが授業で考案したグッズが、早ければ6月末に商品化される。

1つ目のグッズ、ネックストラップは6月下旬または7月上旬、学生会館のUTショップなどで発売される。ストラップ本体部分はスクールカラーの紫で、筑波大学のロゴが白で入っている。長さ調節ができ、ストラップの先にはネームラレットと携帯をつけることができる。価格は700円を予定。

2つ目のグッズがクラッチバッグで、9月頃から販売する。

24日午前11時20分、本祭が始まった。

◆新企画

「1つ」の超人は今年初めて企画された。午後1時からの第一部は、特技をを持ったグループや個人がメインステージに次々と登場し技を競い合った。

最初に登場したフロックアカペラサークル「Doo Woop」やフォルクローレ愛好会による演奏が行われた。心地よい音色に学生や一般客は聞き入った。

前夜祭のメインイベントであるパレードは午後6時半から行われた。今年は吹奏楽部の演奏が隊列を率いた。「聖者が街にやってくる」の影で音響機材が使

る「の陽気なメロデー」が雰囲気盛り上げた。参加者は追越から平砂まで、各出店の宣伝をしながらパレードを練り歩いた。

パレードを見ていた藤井祥子さん(比文4年)は「コーマーションが工夫されていてイベントとして面白い」と前夜祭を楽しんでいた。



今年の超人に選ばれた矢木さん

本祭

三味線に歓声が上がった。チャンピオンに輝いたのは、2本のハンドスティックに通した糸でコマを自在に操るディアポロを披露した矢木啓介さん(工シス2年)。「お客さんの温かい拍手がありがたかった」と優勝の喜びを語った。

また、MVPには中南米民俗音楽のけんか踊りを披露したフォルクローレ愛好会が選ばれた。柴田悟志さん(社工3年)は「お客さんのノリがよくて楽しく踊れた」と話した。

雨の影響で音響機材が使

を披露した。司会を務めた岡田祐樹さん(人文4年)は「超人たちが技を決める度に観客が盛り上がり、観客と満更けに語った。」

◆御典・パフォーマンス

今年も、午後3時から各学類から特色ある御典とパフォーマンスが繰り広げられた。生質の資源リサイクルをつらつらしたもの、国総の民族衣装など、どれも趣向を凝らした作品であった。

今年度の優勝に輝いたのは、パイレーツオブカリビアンをモチーフにしたパフォーマンスの比較文化化学類であった。映画のワンシーンを模したように音楽と御典、ダンスがうまく絡みあった。一番の山場であった筑波学院大学からゆかコン嬢が出場した。

今年度グランプリに輝いたのは、夕方から降りだした雨の影響で予定より30分程繰り上げられ、雨天の開始となった。今年9つの学群、専門学群に加え、特別出演として筑波学院大学からゆかコン嬢が出場した。

今年度グランプリに輝いたのは、純白の衣装に身を包んだソニヤさんがダンサーのコンビ達に植木の中に入られ、その後真っ赤な衣装を身にまとい再登場をするパフォーマンスなどで観客を沸かせた。ひときわ目立つ十字架などの凝った舞台セットなども芸専らしさを十分にアピールした。ソニヤさんは「まさかグランプリを獲得とは思わなかった。信じられない」と皆の手で勝ち取ったグランプリを喜んだ。

ゆかコン終了後、会場では花火が盛大に打ち上げられた。学生たちはやぐらを取り囲み、ヤドカリ音頭を歌い踊った。雨の中でもゆかコンの余韻はいつまでも冷めなかった。

オリエンテーリング愛好会

オリエンテーリングは、コンパスと専用の地図を頼りに林の中にある無数のポスト(通過点)を順にめぐり、スタートからゴールまでの所要時間を競う。

オリエンテーリングは、コンパスと専用の地図を頼りに林の中にある無数のポスト(通過点)を順にめぐり、スタートからゴールまでの所要時間を競う。

探検 tanbō

スタートの合図と共に地図を取り、山を駆け上がる。急な斜面を上り下りし、道無きヤブの合間をくぐり抜ける。最後は服も靴も泥だらけだ。先月の25日に開催された関東学生ペーオリエンテーリング大会(ペーオリ大会)の一幕である。

オリエンテーリングは、コンパスと専用の地図を頼りに林の中にある無数のポスト(通過点)を順にめぐり、スタートからゴールまでの所要時間を競う。

また、昨年年度優勝した芸専の巨大な虎の御典とミュージカル「キャッツ」を思わせるような虎の衣装で全身を飾っていた。しかし、大きさが規定違反となり、失格になった。

埼玉県から来た女性は「昨までは、こんなダンスはしてなかった。随分練習をしたのだろう」と感動しており、観客を大いに楽しませるものとなった。

◆ゆかたコンテスト

今年ゆかたコンテストは、夕方から降りだした雨の影響で予定より30分程繰り上げられ、雨天の開始となった。今年9つの学群、専門学群に加え、特別出演として筑波学院大学からゆかコン嬢が出場した。

今年度グランプリに輝いたのは、純白の衣装に身を包んだソニヤさんがダンサーのコンビ達に植木の中に入られ、その後真っ赤な衣装を身にまとい再登場をするパフォーマンスなどで観客を沸かせた。ひときわ目立つ十字架などの凝った舞台セットなども芸専らしさを十分にアピールした。ソニヤさんは「まさかグランプリを獲得とは思わなかった。信じられない」と皆の手で勝ち取ったグランプリを喜んだ。



自然の中で頭脳駆使

競技会以外のイベントでは、遊戯的なオリエンテーリングを行ったり、チゴ狩りなどを楽しむ。メンバーの常任紗織さん(比文3年)は、夏合宿の思い出を「競技の後、温泉に入ったり、レクリエーションも楽しかった」と振り返った。

オリエンテーリングの醍醐味は体力だけでなく、頭脳も要求されることだ。そもそも、競技では通過点であるポストは設定されているが、明確な道順は決められていない。「地図を見て最適

また、昨年年度優勝した芸専の巨大な虎の御典とミュージカル「キャッツ」を思わせるような虎の衣装で全身を飾っていた。しかし、大きさが規定違反となり、失格になった。

埼玉県から来た女性は「昨までは、こんなダンスはしてなかった。随分練習をしたのだろう」と感動しており、観客を大いに楽しませるものとなった。

◆ゆかたコンテスト

今年ゆかたコンテストは、夕方から降りだした雨の影響で予定より30分程繰り上げられ、雨天の開始となった。今年9つの学群、専門学群に加え、特別出演として筑波学院大学からゆかコン嬢が出場した。

今年度グランプリに輝いたのは、純白の衣装に身を包んだソニヤさんがダンサーのコンビ達に植木の中に入られ、その後真っ赤な衣装を身にまとい再登場をするパフォーマンスなどで観客を沸かせた。ひときわ目立つ十字架などの凝った舞台セットなども芸専らしさを十分にアピールした。ソニヤさんは「まさかグランプリを獲得とは思わなかった。信じられない」と皆の手で勝ち取ったグランプリを喜んだ。

また、昨年年度優勝した芸専の巨大な虎の御典とミュージカル「キャッツ」を思わせるような虎の衣装で全身を飾っていた。しかし、大きさが規定違反となり、失格になった。

埼玉県から来た女性は「昨までは、こんなダンスはしてなかった。随分練習をしたのだろう」と感動しており、観客を大いに楽しませるものとなった。

◆ゆかたコンテスト

今年ゆかたコンテストは、夕方から降りだした雨の影響で予定より30分程繰り上げられ、雨天の開始となった。今年9つの学群、専門学群に加え、特別出演として筑波学院大学からゆかコン嬢が出場した。

今年度グランプリに輝いたのは、純白の衣装に身を包んだソニヤさんがダンサーのコンビ達に植木の中に入られ、その後真っ赤な衣装を身にまとい再登場をするパフォーマンスなどで観客を沸かせた。ひときわ目立つ十字架などの凝った舞台セットなども芸専らしさを十分にアピールした。ソニヤさんは「まさかグランプリを獲得とは思わなかった。信じられない」と皆の手で勝ち取ったグランプリを喜んだ。

また、昨年年度優勝した芸専の巨大な虎の御典とミュージカル「キャッツ」を思わせるような虎の衣装で全身を飾っていた。しかし、大きさが規定違反となり、失格になった。

埼玉県から来た女性は「昨までは、こんなダンスはしてなかった。随分練習をしたのだろう」と感動しており、観客を大いに楽しませるものとなった。

◆ゆかたコンテスト

今年ゆかたコンテストは、夕方から降りだした雨の影響で予定より30分程繰り上げられ、雨天の開始となった。今年9つの学群、専門学群に加え、特別出演として筑波学院大学からゆかコン嬢が出場した。

今年度グランプリに輝いたのは、純白の衣装に身を包んだソニヤさんがダンサーのコンビ達に植木の中に入られ、その後真っ赤な衣装を身にまとい再登場をするパフォーマンスなどで観客を沸かせた。ひときわ目立つ十字架などの凝った舞台セットなども芸専らしさを十分にアピールした。ソニヤさんは「まさかグランプリを獲得とは思わなかった。信じられない」と皆の手で勝ち取ったグランプリを喜んだ。

また、昨年年度優勝した芸専の巨大な虎の御典とミュージカル「キャッツ」を思わせるような虎の衣装で全身を飾っていた。しかし、大きさが規定違反となり、失格になった。

埼玉県から来た女性は「昨までは、こんなダンスはしてなかった。随分練習をしたのだろう」と感動しており、観客を大いに楽しませるものとなった。

◆ゆかたコンテスト

今年ゆかたコンテストは、夕方から降りだした雨の影響で予定より30分程繰り上げられ、雨天の開始となった。今年9つの学群、専門学群に加え、特別出演として筑波学院大学からゆかコン嬢が出場した。

今年度グランプリに輝いたのは、純白の衣装に身を包んだソニヤさんがダンサーのコンビ達に植木の中に入られ、その後真っ赤な衣装を身にまとい再登場をするパフォーマンスなどで観客を沸かせた。ひときわ目立つ十字架などの凝った舞台セットなども芸専らしさを十分にアピールした。ソニヤさんは「まさかグランプリを獲得とは思わなかった。信じられない」と皆の手で勝ち取ったグランプリを喜んだ。

Who's Who?



国際学生科学フェアで1等賞

牧野 美咲 さん (化学1年)

中学までは理科が苦手だったという牧野さん。実験を重視する高校の化学の先生との出会いで、化学の面白さを知った牧野さんは、先生が顧問の

科学が見せる色に魅了 独学で放電装置つくる

「この色は何なんだろう」と、物質が化学変化で見せる色というものに強い関心をもった。同じ時期に、ある顧問の先生から、水素を放電させることで、4色に光るといふことを聞いた。牧野さんは、それを自分の目で見てみたいと思っただけで、放電装置は約30万円と高価で高校生が研究で使えるようなものではないな、と諦めた。そこで、自分で安く放電装置を作れないものか、と今回のISEF受賞研究を始めた。

夏休み宿舎

夏季休業(7月2日～8月31日)に伴い、学生宿舎共用棟の福利厚生施設の営業日時が、次の通りに変更される。
■平砂食堂
午前11時半～午後2時、午前11時半～午後2時、
7月2日～18日は午前11時～午後2時、午後5時半～8時、22日以降は午前10時～午後2時。
■一の矢食堂
7月2日～18日は午前11時～午後2時、午後5時半～8時、31日は午後5時～10時、平砂共用棟アスベスト工事のため、工事開始日から7月30日～8月31日は午前9時～午後9時、8月10日～17日は休業。
■売店
7月30日～8月31日は午前9時～午後9時、8月10日～17日は休業。
■浴場
午後6時～10時半。8月30、31日は午後5時～10時、平砂共用棟アスベスト工事のため、工事開始日から7月30日～8月31日は午前9時～午後9時、8月10日～17日は休業。

平砂浴場閉鎖

夏季休業(7月2日～8月31日)に伴い、学生宿舎共用棟の福利厚生施設の営業日時が、次の通りに変更される。
■平砂食堂
午前11時半～午後2時、午前11時半～午後2時、
7月2日～18日は午前11時～午後2時、午後5時半～8時、22日以降は午前10時～午後2時。
■一の矢食堂
7月2日～18日は午前11時～午後2時、午後5時半～8時、31日は午後5時～10時、平砂共用棟アスベスト工事のため、工事開始日から7月30日～8月31日は午前9時～午後9時、8月10日～17日は休業。
■売店
7月30日～8月31日は午前9時～午後9時、8月10日～17日は休業。
■浴場
午後6時～10時半。8月30、31日は午後5時～10時、平砂共用棟アスベスト工事のため、工事開始日から7月30日～8月31日は午前9時～午後9時、8月10日～17日は休業。

大学説明会

7月29日から3日間
大学説明会が7月29日から3日間、学類ごとに行われる。初日は人文、文、社会、地球、数学、物理、受賞した研究は、学生でも作れる放電装置と分光器の開発。2つの装置に使われている部品を日頃実験で使うアスピレーターという器具やDVDディスクで代用し、学生

新人記者募集

マスコミに興味のある人、文章を書くのが好きな人、文系・理系を問わず大募集中!

次号は
9月1日(月)
発行予定です

連絡先
029・853・6699
shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

北京五輪壮行会

7月8日午後3時から、するトップアスリートや、大会会館ホールで、北京オリンピック壮行会が開催される。出場予定者は本紙3面参照。

トップアスリートが集結

7月8日午後3時から、するトップアスリートや、大会会館ホールで、北京オリンピック壮行会が開催される。出場予定者は本紙3面参照。

夏休み図書館

夏季休業期間(7月2日～8月31日)の期間、図書館の営業時間は次の通り。
■中央・体芸・図情図書館
午前9時～午後5時
■医学図書館
午前9時～午後8時
■医学図書部
午前9時～午後7時

土日・祝日は閉館

8月31日の附属図書館の閉館時間と貸出期間は次の通り。
■中央・体芸・図情図書館
午前9時～午後5時
■医学図書館
午前9時～午後8時
■医学図書部
午前9時～午後7時

大学会館書籍部ベストセラー

1	友だち地獄	土井隆義/筑摩書房
2	クレイドウ・ザ・スカイ	森博嗣/中公文庫
3	夢をかなえるソウ	水野敬也/飛鳥新社
4	ゆめつけ	富中恵/角川文庫
5	ゴールデン・スランパー	伊坂幸太郎/新潮社
6	擬似科学入門	池内了/岩波書店
7	漱石	三浦雅士/岩波書店
8	コーチング	落合博満/ダイヤモンド社
9	容疑者Xの献身	東野圭吾/文藝春秋
10	B型自分の説明書	Jamis Jamais/文芸社

5月の1位は、本学の土井隆義教授(国共)の「友だち地獄」。

演奏会

7月4日、JICA筑波日本の歌コンテスト
7月5日、つくば市立中央図書館アルスホール(つくば市吾妻)で、午後5時半開場、午後6時開演。

催事

国立博物館「バートナーシップ」東京国立博物館
国立科学博物館(東京・台東区)
筑波実験植物園(つくば市大久保)
自然教育園(東京・港区)

筑波自然図鑑

◇ミヤマセセリ◇
撮影地=宝鏡山

ばつとみてガのように見える地味なこの昆虫はセセリチョウ科である。撮影時期は4月下旬。背景から目立たないので、止まっているときにはなかなか発見しにくい。食草はコナラなどで、最終齢幼虫で越冬し、年一回、3～4月に発生。寒冷地では5月でも見られる。さなぎになる。歩手前で冬の寒さに耐え、質素な色合いで隠れながら飛び回って春を飾るこの蝶の生きかたはどこか健気だ。(写真・文川車崎祐介 野生動物研究会 生物2年)